


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	こくりょう じろう		
氏名	國領 二郎		
所属・役職	慶應義塾大学総合政策学部 教授		
活動拠点	神奈川県藤沢市		
略歴	<p>1982年 東京大学経済学部経営学科卒業 日本電信電話公社入社。</p> <p>1988年 ハーバード大学経営学大学院研究助手。</p> <p>1992年 ハーバード大学経営学博士。 日本電信電話株式会社企業通信システム本部勤務。</p> <p>1993年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。</p> <p>2000年 同教授。</p> <p>2003年 慶應義塾大学環境情報学部教授。</p> <p>2005年 同大学 SFC 研究所長</p> <p>2006年 同大学総合政策学部教授（現在に至る）</p> <p>2009年 慶應義塾大学総合政策学部長</p> <p>2013年 慶應義塾常任理事（2021年5月任期満了）</p>		
地域情報化の 専門分野・技術	地域情報化全般		
専門分野	シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 地域ビジネス		
自治体向けメッセージ	地域の人々の活力を引き出すような情報化を進めましょう。		
関連サイト	twitter : jirok		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>『サイバー文明論 -持ち寄り経済圏のガバナンス-』（2022年）、日本経済新聞出版社</p> <p>『ソーシャルな資本主義』（2013）、日本経済新聞社</p> <p>『創発経営のプラットフォーム』（2011）、日本経済新聞出版社</p> <p>『オープン・ソリューション社会の構想』（2004）、日本経済新聞社</p> <p>『オープンアーキテクチャ戦略』（1999）、ダイヤモンド社</p> <p>「プロローグ いまなぜ地域情報化が必要か」、「第5章 地域再生の起爆剤へ」、國領二郎・飯盛義徳編 『「元気村」はこう創る』 日本経済新聞出版社、2007年</p> <p>「第6章 地域情報化のプラットフォーム、おわりに」、丸田一・國領二郎・公文俊平編 著 『地域情報化 認識と設計』 NTT出版株式会社、2006年</p>	

		総務大臣賞（2008年6月）情報通信の発展への貢献に対して 総務大臣賞（2005年10月）ユビキタスネット社会の推進への貢献に対して
	これまで に関与し た地域情 報化に関 するプロ ジェクト	自治体 ICT プロジェクト http://ictsum.sfc.keio.ac.jp/